

平成 30 年 4 月 3 日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク 運営委員会議事録（4 月期）

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、一政、岡部、片桐、木村、佐藤、高木、葉木、若笠、事務局天寺
沢野推進委員会委員長、オブザーバー：森村

1. 濱田代表理事 挨拶

東京都が耐震基準に問題がある「危険なビル」の名称を公表した。今後、耐震化が計られるかどうか注視していきたい。また、緊急地震速報の技術的な改善がなされ、強い揺れを感じなかった地域にも続報が出るようになった。

これからの時期、梅雨・台風と水害の季節が巡ってくる。高潮時に風速 90 メートルの風が起これば亀戸は 10m 冠水するとの被害予測も出ている。昨今、インフラが地下か地上に整備されている状況で水が入ってきたら、その被害は想定以上のものになることが考えられる。自治体が発表する被害想定の数値から、いかに現実に即した被害イメージをもてるかが重要で、私たちは、それを地域に伝えられるように、そうした意識を持って普及をしてもらいたい。

2. 推進委員会沢野委員長 委員会報告

添付資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

添付資料「運営委員会議事」のとおり。

- 第 5 回定時社員総会で出された質問事項について、理事会および運営委員会にて協議した。その結果は別添総会時の質問一覧を参照のこと。
- 既存の制服・制帽とポロシャツ・活動帽の取扱いについて検討した。SL 公式行事・式典等では、既存の制服・制帽を着用し、これを公式の制服・制帽とする。新しい活動帽・ポロシャツについては、地域での活動などで着用する。
- 2018 年の活動予定表に基づき、スケジュールを確認した。
 - ・ 11 月に予定していた船山 Rescue DAYS は全体研修にそぐわないことから、例年通り 6 月に室内での全体研修を実施する。担当は、濱田代表。6/23(土)で会場予約手続きをとる（天寺）
 - ・ 11 月～12 月ごろに公開講演会を計画する。担当は、葉木 SL。内容は、災害時のトイレ。設備面を含めた災害時のトイレの使用方法などについて。
 - ・ SL 企画セミナー第 3 弾は「防災ワークショップ 3:3:3」を 3 日間で実施する。担当は濱田代表。会場予約手続きをとる（天寺）。
 - ・ SL 企画セミナー第 4 弾は「初心者のための DIG セミナー」を前年に習って 12 月頃を目途に実施する。担当は一政 SL、佐藤 SL、他。

4. 各地域の活動報告

千葉県ネット（岡部）

- 5/30 千葉県ネット春季研修にて施設見学会を実施する。バスを貸切、地質標本館・防災科学技術研究所を見学。参加費は 5000 円。人数は 25 名。参加申込は 5/20。詳細はニュースレターに掲載する。

埼玉県ネット（若笠）

- 3 月は 2018 年の活動企画会議を行い定例会を実施した。4 月は各自、避難所支援の事前学習を行う。

横浜ネット（一政）

- 3/ 平塚ろう学校にて DIG を実施した。担当講師は松川 SL。生徒たちが非常に優秀で、聾学校で DIG を実施するのは初めてだったが、講師の進行も良く上手くいった。
- 3/11 戸塚防災フェアを実施。SL は 7 名参加。主にガラス飛散防止体験を実施した。
- 3/20 防災ギャザリング実行委員会が開催された。今年は 5/12(土)に実施する。
- 3/22 茅ヶ崎北陵高校にて 2 学年 560 名いっせいに体育館で DIG を実施した。ハザードマップの読み取りなど、先生からの要望も受けて実施した。大変好評だった。
- 4/24DIG の振返り会を実施する。参加した SL に呼びかけ反省会を開く。
- 5/21 横浜ネットの総会。運営費で 500 円徴収しているが、規約は今のところ作っていない。

西湘ネット（石丸）

- 3/9「富士山と活火山」をテーマに講演会を実施した。参加者 100 名内 SL は 12 名参加してくれた。
- 5/20 防災フェアがあるので、そこでブース展示をする予定。
SL ネットのぼり旗を座間・湘南・西湘・市川・埼玉の各ネットへ貸与。

ざまネット（濱田）

- 座間消防庁舎が完成した。現在、そこで県央相模原講座を 8 月上旬に実施できないか調整をしている。
- 3/16 シェイクアウト報告会を実施。140 名近くの参加者。中村一樹先生に講演してもらった。

SL 防災談話室@mansion（木村）

- 3/14 第 5 回目の防災談話室を実施。テーマは自治会・町内会・要介護者名簿について。
- 次回は 5/9 会場は決まり次第連絡。
- 7 月はマンション炊出し訓練をテーマに調理室を予約し、炊出しを実施予定。材料費等については、計画書を理事会に提出することで、費用を SL ネットが負担する旨了承された。

5. その他提案事項

木村 SL より、「公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク会員」の愛称について、「SL 災害救援士」という名称で提案があった。委員で意見交換をした結果、会員に広く馴染む・愛着がある名称を考えていこうということで、継続検討となった。

【次回の開催日】 通常第1金曜開催だが、4月・5月は変則開催。
2018年5月8日(火)13時30分～運営委員会・理事会は無し

2018年3月の事業報告と今後の予定(3.2 4.3)
(4月3日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

今月の話題

- ・公益社団法人S Lの持つ意味、組織運営に力を注いだ成果
- ・あれもこれもで「肝心なこと」が欠落している。

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

日 時 震 央 M 深 さ 最 大 地 域

イ 風水害(内閣府または消防庁災害情報掲載を主に対象)

ウ 事故等

エ 火山等 噴火警戒レベル

3/1 霧島・新燃岳 噴火

海外 ア 地震(USGC 発表、日付 UTC、Mw7 以上又は報道等で犠牲者多数)

日 時 UTC 震 央 M 深 さ 国 死 者

イ 火山 ウ 風水害 エ 事故等

オ テロ等(公安調査庁世界のテロ等発生状況等より)

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府][消防庁][文部省]

[気象庁] 3/8 緊急地震速報の技術的改善 3/22 付運用開始

巨大地震対応、速報評価導入

イ 自治体

ウ 東日本大震災

・3/30 復興庁 避難・転居者数 7万1365人 前月比 - 1,984人 3/15 付

オ 防災訓練等

1-4 災害ボランティア等の動き

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK]

・3/4 河川津波～震災7年 知られざる脅威

イ 書籍

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 10,034人 公認講座 2,230人* 計 12,264人
1万人達成

イ 本部主催のS L養成事業

・[報告]首都圏 105 期・立教大学講座 2/24-3/3-10

・[報告]神奈川 66 期 相模原県央講座 3/6-7

ウ 大学等受託の S L 養成事業

エ JBU パワーバンク養成事業

4/6-7 東日本 新潟・越後湯沢

4/13-14 中日本 福井・芦原温泉

4/20-21 西日本 鹿児島・霧島温泉

5/10-12 上級東 宮城・大観荘

5/17-19 上級西 兵庫・シーサイドピラ舞子

5/30-31 上級特 香川・琴参閣

6/1-2 中日本 香川・琴参閣

B、防災 / 減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 他主催の事業への協力

自治体総合フェア 防災講演 5/18 推進委員会企画

1300-1350 平田 直 科学的知見をふまえての

新しい「南海トラフ沿い大地震評価」

1420-1510 廣瀬昌由 南海トラフ沿いの大規模地震に対する今後の防災対応

ウ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

ア 会議行事等

・[報告] 3/24 社団総会

・[事務]会費納入と役員承認

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業（防災訓練事業）

ア 到達点 2017 年 国内累計約 667 万人

イ 終了 3/9 1000 千代田区シェイクアウト

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン・内閣府共催事業

・[報告]3/29 実行委員会 次年度日程等

イ 防災教育普及協会事業

・[予定]6/3 指導者セミナー / 総会

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

・[各地]学校での防災教育支援

C、防災研究事業

・被災者生活再建支援研究会

3、事務局等

A、広報

S L レター 4 月 25 日発行予定

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
4月3日運営委員会(13:30～16:00) 議事

1. 自己紹介

各委員から自己紹介（簡潔に）

2. 理事会報告など

2.1. 運営委員会確認事項

運営委員会開催日の確認

運営委員会規則

役員を選任（運営委員会規則第3条）

・委員長 = 代表理事

・副委員長 = 理事 3名 = _____ ・ _____ ・ _____

役割) 運営委員会の議事進行、など

2.2. 第5回定時社員総会の報告

議決権のある社員の総数（3/17までの納入者） 613件

出席社員数（総会開会時） 47件

書面により議決権を行使した議決権の数 387件

議決権総数 434件

すべての議案が承認された。

会員からの質問事項について（共通理解を図るために）

➤ 添付資料_総会時の質問一覧

2.3. 2018年事業内容の確認

➤ 添付資料_2018年活動予定表

・11月船山(株)RescueDAYS はSL全体研修にはそぐわない。

・SL企画セミナーの提案など

3. 次回運営委員会

2018年5月8日(火) 13:30～16:00

4月5月のみ例会。通常は、毎月第1金曜日開催（8月は休会）

以上

第5回定時社員総会 質問一覧（理事会・運営委員会検討結果）

【報告事項】

- ・地域で行っている訓練(災害救援ボランティア養成講座)の実際は？(学生の受講率を上げるには？)
本件は災害救援ボランティア推進委員会の事業なので、推進委員会で検討する。

【第一号議案】

- 地域ネット毎の会計処理はどのようになっているのか？

それに関する資料を今後添付してほしい。

事務局案としては...各県ネットの活動報告会で配付している収支報告書を「参考資料」という形で添付することはできる。

今後の対応 各県ネットの事業に関しては、本部会計に含まれている。その下の地域ネット単位での会計は、地域ネット内で別途地域の実情に合わせてワンコイン集金などをしており、収支管理をしているが、一律ではないため、今後の総会でも添付はしない。

- 非常用炊出袋を広めたい。在庫状況はどうなっているのか？決算に計上されないのか？

事務局対応としては...在庫管理の商品出納帳はある。発注期ごとに締めている。

決算上では、炊飯袋の購入は「保安用品訓練費」、外袋・輪ゴム・マニュアル印刷費は「消耗品費」として計上し、売った分については「物品斡旋」としている。

今後の対応 現状のままでよい

【第二号議案】

- 社団ポロシャツは、どんなシーンで着用をするのか？

事務局案としては...申し合わせ事項を作ってはどうか。

今後の対応 SL 公式行事・式典等では、既存の制服・制帽を着用し、これを公式の制服・制帽とする。新しい活動帽・ポロシャツについては、地域での活動などで着用する活動着という扱いにする。

- 社団ポロシャツの長袖版を作してほしい。

今後の対応 理事会・運営委員会で検討の結果、採算が取れないため、長袖は作成しない。

- 防災グッズを社団として販売することはできるのか？

今後の対応 防災グッズ等の販売はしない。

【第三号議案】

- 消耗品費等の、大幅な増減のあった項目についても説明してほしい。

事務局対応としては...2019年予算を立てるときに考慮し、次回の総会では注意して説明する。

- 県ネット(地域ネット)は「社団法人」の扱いなのか？

ネット単位会計と法人としての会計との関係性

今後の対応 県ネット(地域ネット)は社団法人の一部。各県ネットは支部扱いにはしていない。